

Jealousick

Paakun

大阪市立大学恐竜愛好会ジェラシックパー君機関紙 2016年2月号



博物館巡り@科博



夏休みも終わる頃、リニューアルした科博(国立科学博物館)と、特別展「生命大躍進」を観覧するために、JPKフルメンバーで東京へ行きました。

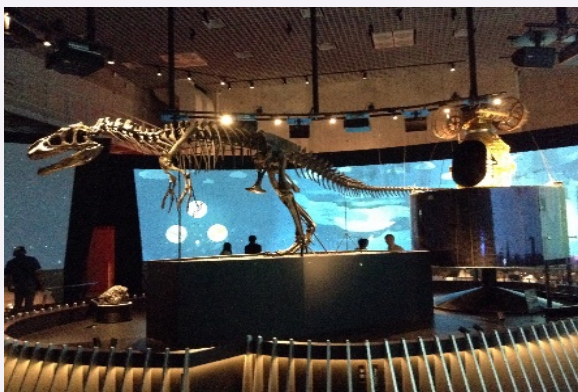
生命大躍進展は、およそ40億年もの年月の間に生命がたどった進化や絶滅の過程がテーマの展覧会で、実物を多数含む国内外の重要化石、精巧な復元模型や4K映像など、魅力的な展示物が数多く展示されていました。とにかく貴重な化石がとてまたくさん展示されていて、それらで1つの博物館が建ってしまいそうなほどでした。特に、多様な三葉虫化石は凄い量でした。広報ではとても伝えきれていないラインナップに、JPK一同感心するのみでした。



↑アノマロカリスの付属肢
白熱のガチャ結果... ↓



ギ
ネ
アン
デル
タール
(四〇〇円)
という言葉も誕生!



↑アロサウルスの全身骨格



↑ティラノサウルス(腹這い姿勢)

昼食とガチャを楽しんで一息ついたあと、常設展を回りました。地球館の新しいみどころのひとつは、アロサウルスの全身骨格を取り囲むスクリーンに映し出される地球上の生命の歴史をたどるアニメーションです。神秘的な音楽が印象的でした。しかしやはりJPKの本命は恐竜ゾーンです。腹這い姿勢のティラノサウルス全身骨格は、起き上がる為の補助となるほど前足が力強かったことなどの最新の研究が反映されていました。体格の割に小さ過ぎるティラノサウルスの前足は退化の途中であるとされ、その役割は長年の謎でありましたが、解剖学的観点から徐々に解明されつつあるようです。

特別展が大きければ、もちろん常設展の規模もとてつもないものでした。JPK一同は閉館の時間ギリギリまで館内を回っていました。ミュージアムショップで買い物も済ませ、疲れ切りましたが満足した1日となりました。